

道徳科における役割演技を活用した問題解決的な学習とは

みなさんは役割演技というと、「低学年や中学年がするもの」と考えてはいませんか。私は、全学年で、特に高学年で、役割演技を取り入れるべきだと思っています。というのも、子どもたちの多くが、よいことは頭ではわかっています。でも、実際行動するとなると頭ではわかっているのにできない、それが今の子どもたちです。ですから、実際に悩みそうな問題場面を設定して、この問題を解決するためにはどうしたらよいのか、子どもたちに役割演技で演じさせながら考えさせることこそが、道徳科における問題解決的な学習だと考えています。

実際に演じさせることで、子どもたちは頭ではわかっていたのに、なかなか言えなかったり、行動に移せなかったり、言い方が足りなかったり、様々な気づきが生まれるのです。そして、子どもたちの役割演技をもとに、どうすればみんなが納得するのか、どのように考えれば道徳的な問題が解決するのか、改善案を考えることが大切なのです。つまり、役割演技は演じさせることも大切ですが、その後の話し合いがさらに大切なのです。ただ、道徳科は方法論ではないので子どもたちが様々な方法を考えた後、どの方法をとるにしても大切な心、気持ちは何かをしっかりとっておさえることが大切です。

今、道徳科における問題解決的な学習についていろいろ考えられています。その中のひとつの方法として、役割演技を取り入れることをお勧めします。この冊子が、様々な道徳科における問題解決的な学習を考えるきっかけになればよいと思います。

尾高 正浩（千葉市立轟町小学校校長）

道徳的な考えの深まり

役割演技 1

改善策を話し合う

役割演技 2
(改善策を演ずる)

話し合う
(よかったところ、あるならばさらに改善するところ)

道徳科における問題解決的な学習のすすめ方Ⅱ ～役割演技のすすめ～

日文 教授用資料

令和元年(2019年)5月31日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261

本資料は2020年度版小学校道徳科内容解説資料として扱われます。
本書の無断転載・複製を禁じます。

CD 33466

日本文教出版 株式会社
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18・7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

道徳科における 問題解決的な学習のすすめ方Ⅱ

～役割演技のすすめ～



本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

日本文教出版の教科書情報
詳しくはWebへ!

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版



道徳の授業、 どうやって考えを深める？

— ある新任道徳主任と道徳教育推進教師の会話から —

道徳科の授業がいまいち盛り上がりませんよね…。

話し合いも、考えも深まらないというか……。

どうしたらいいんでしょう？

役割演技を取り入れましょう！

その教材の、結論が出ていない場面を演じさせるのです。
そうすることで、どうしたらよいかをよく考えさせるのです。



役割演技って、子どもたちに何度も同じような演技をさせるアレですよ…？

そのレベルでとどまっていたはいけません！
それでは、子どもたちは体験はできますが、
問題解決の授業にはならないのです。

ポイントは、

役割演技をした後の話し合いに重点を置く
ことです。



役割演技後に感想を聞いて終わりにするのではなく、演じてみてどうだったのか、あるいは、友達が演じたのを見て、どうすればみんなが納得できるのか、その場面の問題を解決できるのか考えさせ、話し合わせるのです。



つまり、**改善策を話し合う**のですね。



そうです。

改善策を話し合い、出てきた改善策を次の役割演技で演じるのです。そうすれば、はじめと違う演技になります。

ただ、道徳は理想的な行為・行動を促す時間ではないので、話し合いでは、どんな改善策をとるにしても、大切な気持ち、心を押さえることが大事なポイントです。



さっそく試してみます！

以下に指導例を紹介します。
参考にしてみてください。

役割演技を通して考え、話し合いを深める授業(中学年)

教材

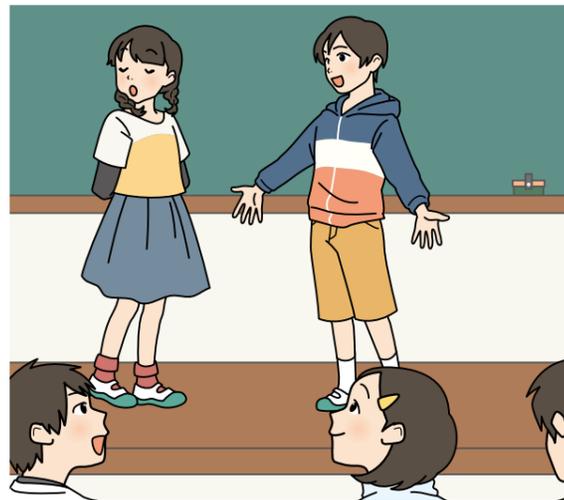
「たっきゅうは四人まで」

(2020年度版 日本文教出版『小学どうとく 生きる力』3年 p.148～151)

あらすじ

本教材は、しゅんたちが、放課後にスポーツセンターへ卓球をしに行く約束をする場面から始まります。

友達とおるが「仲間に入れてくれないか」と言いますが、しゅんは「ダブルスをやるから4人まで」と断ります。しかし、しゅんはおるのことが気になって卓球を楽しめないで終わってしまい、次の日とおるのことを校門で待っているという教材です。



しゅんは、どうしたらよいのでしょうか。考えたことを役割演技してみましよう。

3 問題について話し合おう



なぜ、しゅんは困っているのでしょうか。

1 問題をつかもう



本当の友情とはどのような心をもつのでしょうか。

4 問題を解決する時に大切な考え方について話し合おう



断られたとき、とおるはどんな気持ちになったのでしょうか。

2 自分なりに考えよう

ねらい

友達のことを大切にできないときの後ろめたさについてよく考えることを通して、友達と互いに信頼し、助け合おうとする心情を育てる。

(B 友情, 信頼)

導入

友達となかよくするためには、どんなことに気をつけたらいいと思いますか。

展開

① なぜ、しゅんは困っているのでしょうか。

★卓球をするのに、特別仲のよくないとおるに仲間に入れてと言われ、ダブルスの試合をやるから4人でないとだめだと断ったことを、場面絵やキーワードを活用して状況を整理します。

② 断られたとき、とおるはどんな気持ちになったのでしょうか。

●とおるとしゅんになって役割演技をしてみましょう。

実際におるの立場に立たせることで、言われてどんな気持ちになるか確認します。気持ちを確認した後、4人で卓球してもあまり楽しめなかったのはなぜか話し合います。

③ しゅんは、どうしたらよいのでしょうか。

★しゅんは、どうすればよかったのか、話し合った後に、次の日とおるになんと話しかけるか、ワークシートに自分の考えを書かせる。

●実際に考えたことを役割演技をしてみましょう。

子どもたちが考えた案を演じさせる。演じさせた後、これならとおるも納得するか話し合います。そして、納得しないなら改善案を出してさらに演じさせます。

④ 本当の友情とはどのような心をもつことでしょうか。

★改善案が出たところで、友達に対してどのような気持ちをもつことが大切なのか話し合います。

終末

今日の学習を振り返りましょう。

今までの自分はそのような心をもっていましたか。今日の学習で学んだことは何ですか。これからはどのような心を大切にしていきますか。多面的・多角的に考えられましたか。などについて振り返ります。

役割演技を通して考え、話し合いを深める授業(高学年)

教材

「折れたタワー」

(2020年度版 日本文教出版『小学道徳 生きる力』5年 p.88～93)

あらすじ

本教材は、児童の日常生活においてもありそうな場面が書かれています。ひろしは給食当番でマスクを忘れ、そのことでのりおに強く責められます。数日後、そののりおに一生懸命に作った作品を壊されてしまったひろしは、悔しかったが故意ではないと、のりおの失敗を許す話です。

ねらい

誰にでも失敗があることを理解したうえで、相手の失敗を許そうとするひろしの思いを捉えることを通して、相手の立場になって、広い心で許そうとする心情を育てる。
(B 相互理解, 寛容)

導入

「誰だって失敗することはあるよ。」というように、友達を許した経験を発表しましょう。

展開

① 「ごめん。」と謝っても、のりおが許してくれそうもなかったとき、ひろしはどんな思いになったでしょう。

● ひろしとのりおになって役割演技をしてみましょう。

役割演技をさせ、失敗したことに対して必要以上に責めるのりおに対して、納得いかないひろしの気持ちを体感させ共通理解します。

※教材は範読する際、最後まで読むのではなく、p.88からp.89まで読んでから発問の①をし、p.90の終わりまで読んで、発問②をします。

② じっとタワーのそばでうつむいているのりおを見て、ひろしはどんなことを考えたでしょう。

● 役割演技をしてみましょう。

ワークシートに自分の考えを書かせた後、役割演技をします。机間巡視して「許せない」と書いてある児童を意図的に指名し、役割演技をさせます。そして、許せない気持ちを共感させたいので、本当にこれでよいのかな。どうしたらよいのか、話し合った後、「許す」と考えた児童を指名し、役割演技をさせます。その際、許してくれた後の、のりおの言動にも注目させます。※演技について話し合った後、残りの部分を範読します。

③ のりおを許すことができたのは、ひろしの中にどんな心があったからでしょう。

★かわいそうだからだけでなく、誰にも必ず失敗はあることをしっかり押さえます。そういうことを理解したうえで、よりよい関係を築こうとすることの大切さに気付かせたいです。

終末

今日の学習を振り返りましょう。

今までの自分はそのような心をもっていましたか。今日の学習で学んだことは何ですか。これからどのような心を大切にしていきますか。多面的・多角的に考えられましたか。などについて振り返ります。

折れたタワー
学習の手引き



「広い心」について、登場人物に
なりきって考えてみよう。



1 「ごめん。」とあやまっても、のりおが許してくれそうもなかったとき、ひろしはどんな思いになったでしょう。



2 そうじの時間、タワーを落としたりおと、ひろしになって、二人のやりとりを考えてみましょう。

① 「あー……」
② 「……」
③ 「わざと落してたんじゃないだろ。……」

見つけよう
生かそう

自分が「失敗した、ごめんなさい。」と思ったときに、許してもらったことはあるか思い出してみよう。



● 演じてみて……どんな気持ちになりましたか。
● 見ている……自分の考えとくらべて、どう思いましたか。

やくわりを交代
してみよう。

3 のりおを許すことができたのは、ひろしの中にどんな思いがあったからでしょう。

2 て考えたやりとりを演じてみましょう。

考えてみよう

